

読書探偵作文コンクールとは

●読書探偵作文コンクール（ドクタン）とは

小学生、中学生、高校生のみなさんに楽しみながら翻訳書を読んでもらい、その本について作文を書いてもらおうというコンクールです。

課題図書はなく、作文の書き方に制約もありません。感想文はもちろんのこと、物語のつづき、登場人物への手紙、評論など、本を読んで頭に浮かんだことを書いてもらえばいいのです。

作文に絵や工作、音声ファイルなど（なまもの・危険物以外！）おまけをつけるのもかまいません。おまけの形式で迷ったときには、dokusho.tantei@gmail.comへお問い合わせください。

このコンクールのきまりはひとつ。読む本は、翻訳書（※）にかぎる、という点だけです。翻訳書であれば、絵本から児童書、大人が読む一般書まで、制限はありません。

参加費は無料。

翻訳家が最終審査をおこないます。

最優秀賞1名、優秀賞3名を選出する予定です（人数の変動あり）。受賞者には賞状や賞品が授与されます。

参加者全員に作文へのコメントをお返しします。また、全員に参加賞もさしあげます。

（※翻訳書とは、外国語で書かれた本を日本語に翻訳したうえで、出版している本のことです。）

●読書探偵作文コンクールの目的

読書探偵作文コンクールの目的は、より多くの子どもたちに翻訳書を手にとってもらうことです。わたしたち読書探偵作文コンクール事務局は、頭と心の柔軟な子ども時代から、異文化の魅力がつままった翻訳書に親んでもらいたいと考えました。子どもたちが新たな本に出会い、その楽しさや驚きを作文にすることで、海外の物語や文化への興味をいっそう深めてくれることを願っています。

●読書探偵作文コンクール事務局とは

このコンクールを開催するために有志のボランティアが立ち上げた団体です。翻訳家を中心に、翻訳書を愛する者たちで構成され、ほとんどがやまねこ翻訳クラブ会員です。コンクールの運営、サイト・ツイッター・フェイスブック・フライヤーでの広報など、このコンクールに関わる活動の一切をとりしきっています。

2010年に翻訳ミステリー大賞シンジケート主催で始まったこのコンクールを、2013年から引き継ぎました。

2017年には、過去の受賞作品を掲載した書籍『外国の本っておもしろい！ ～子どもの作文から生まれた翻訳書ガイドブック～』を出版しました。

翻訳ミステリー大賞シンジケート (<http://honyakumystery.jp/>) は、小説家、翻訳家、書評家、編集者といった本に関わるプロが中心になって構成している団体です。2013年からは当コンクールに協力しています。

やまねこ翻訳クラブ (<http://www.yamaneko.org/>) は、翻訳と子どもの本に興味のある人たちが作っているweb上のクラブで、2011年から当コンクールに協力しています。



© 読書探偵作文コンクール事務局

読書探偵作文コンクール事務局

越前敏弥 児玉敦子 佐藤淑子 武富博子 田中亜希子
ないとうふみこ 平野麻紗 冬木恵子 宮坂宏美

お問い合わせ dokusho.tantei@gmail.com

公式サイト

小学生部門 <http://dokushotantei.seesaa.net/>

中高生部門 <https://dokutanchuko.jimdofree.com/>

note <https://note.com/dokutan/>

Twitter https://twitter.com/Dokusho_Tantei/

Facebook <https://www.facebook.com/dokushotantei/>